

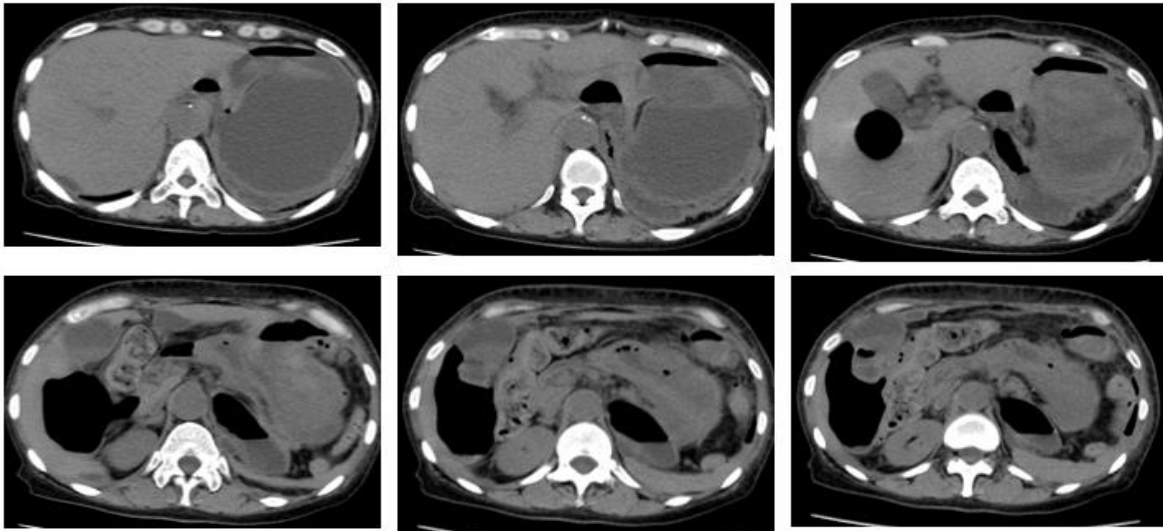
# A Case of the Week

Case 435

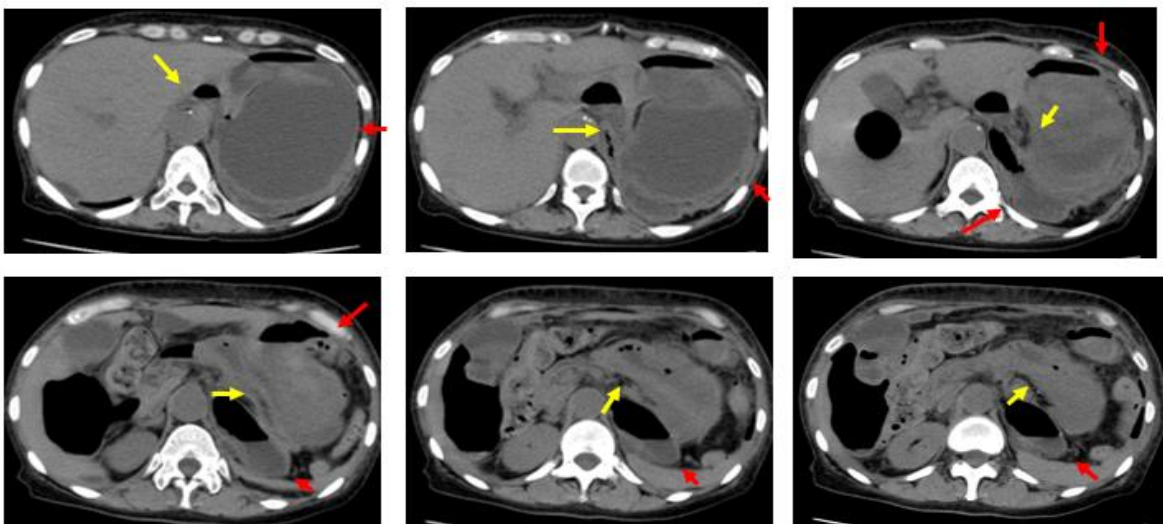
## 直腸がん穿孔

### 直腸がん穿孔：腹腔内膿瘍

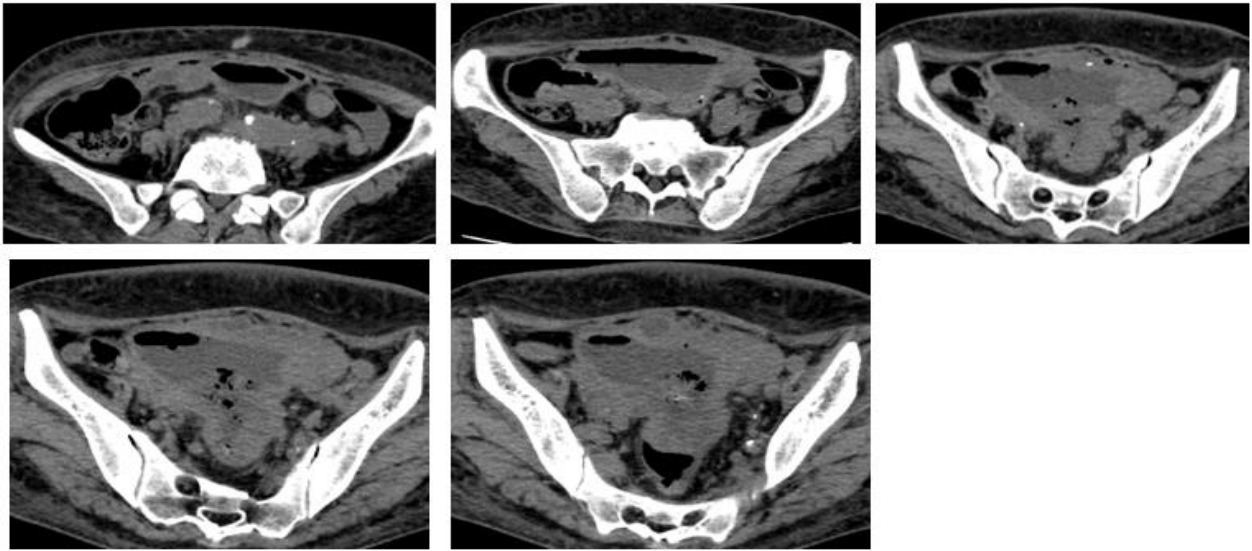
60代 女性  
2月23日 単純CT  
2月24日 造影CT



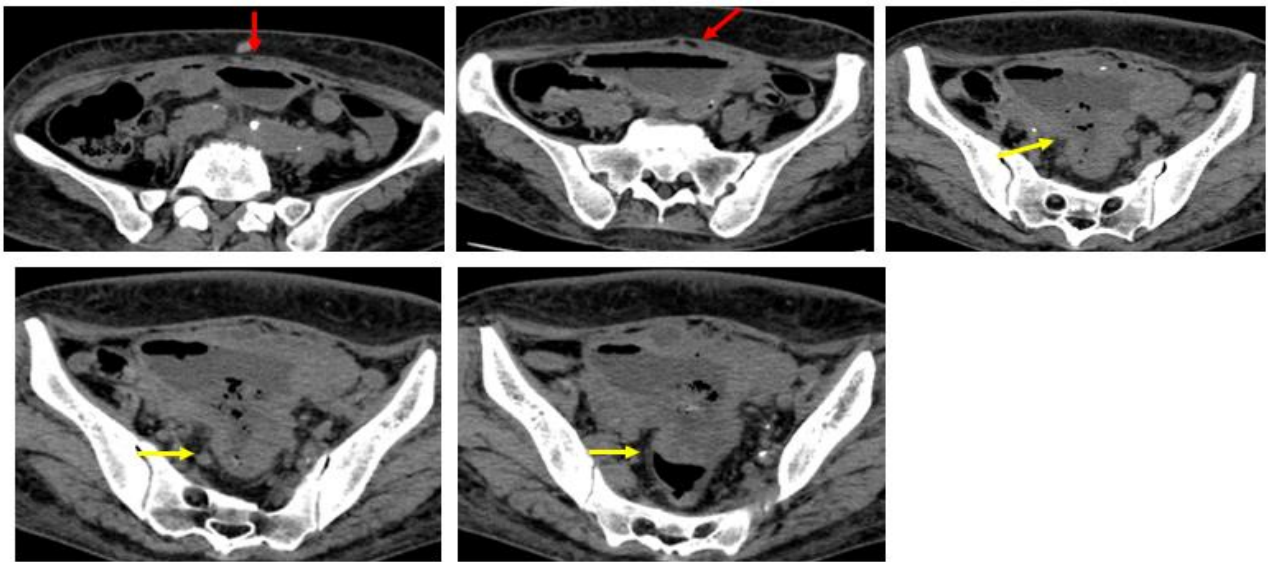
どれが胃でどれが病変か分かりますか？



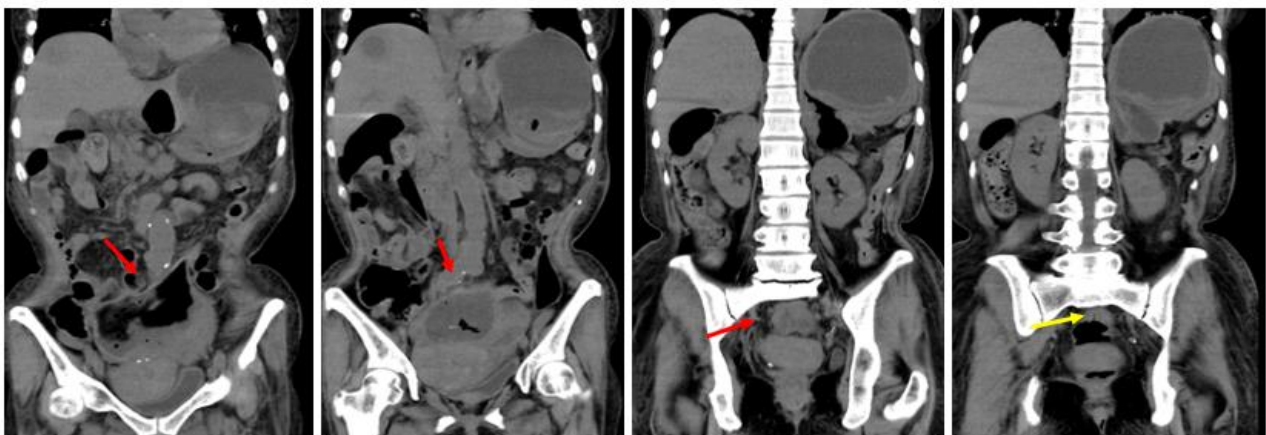
赤印が膿瘍とガス像、黄色印が圧排された胃



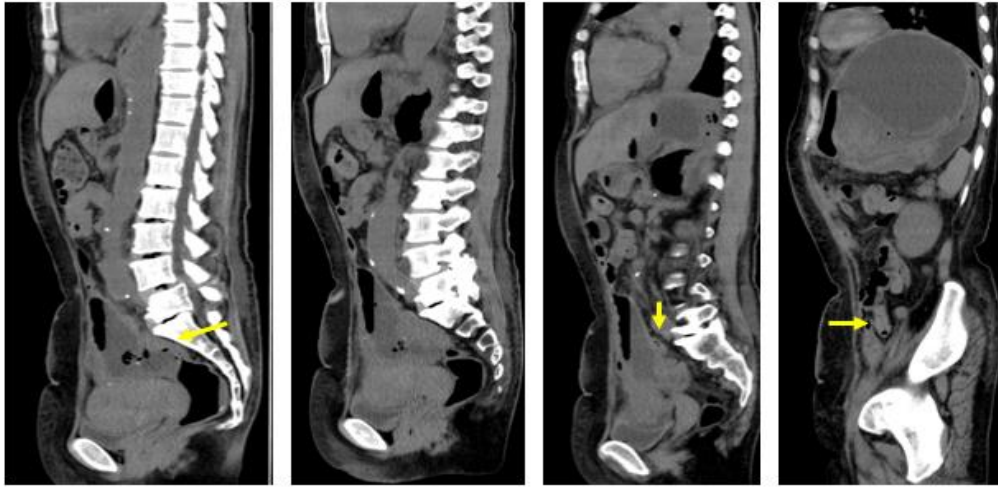
どれが病変でどれが直腸？子宮もあります。



赤矢印が膿瘍、黄色矢印が圧排された直腸。



赤矢印が膿瘍、黄色矢印が直腸、内部に瘻孔が描出。



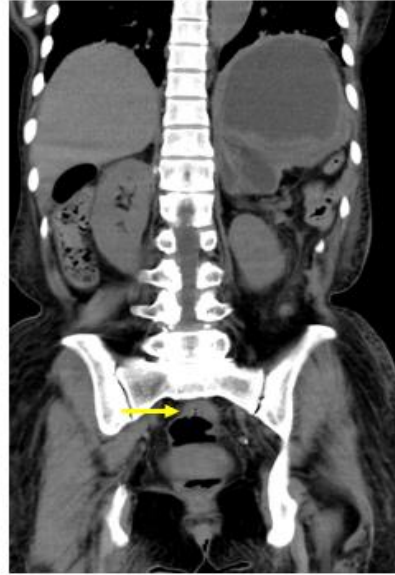
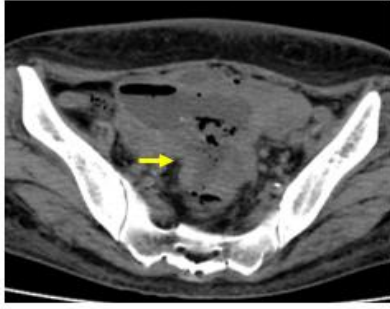
黄色矢印が、圧排された直腸。

## 読影上の疑問点

- ・ 膿瘍腔が少なくとも2つ 胃周囲と骨盤内
- ・ 読影のポイントは 同時多発化か異時多発  
原因は1か所か 2か所なのか
- ・ 1か所であるなら原因は 上なのか 下なのか  
上が原因なら 下にガスが行くはずがない  
下が原因か

## 本症例の読影上の問題点

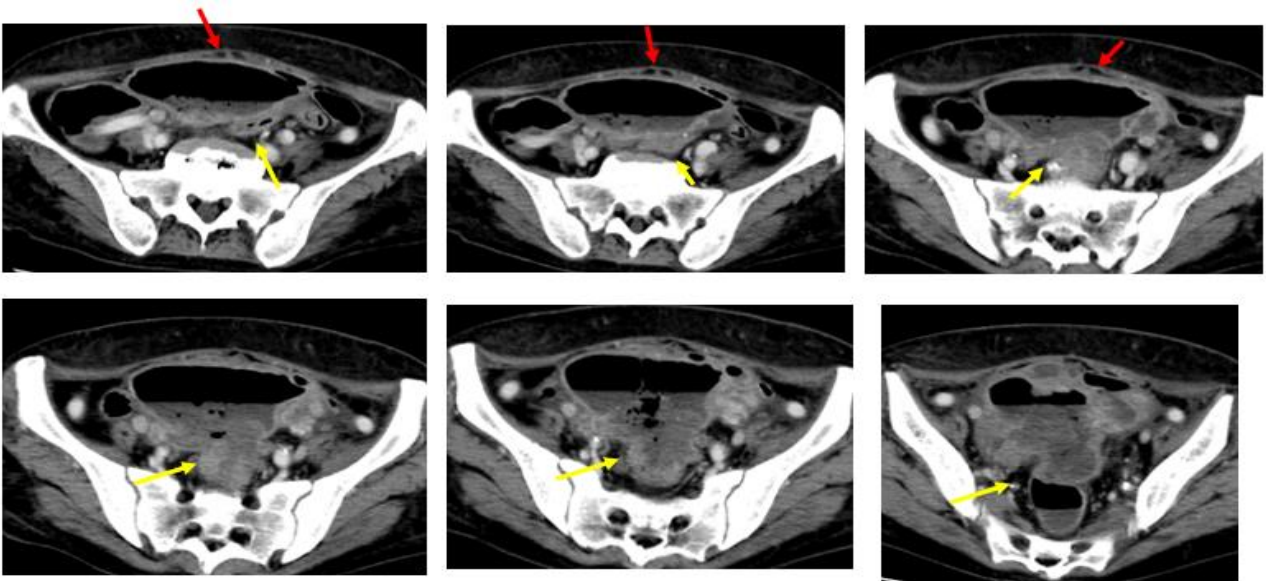
- ・ 腹腔内膿瘍が大きく、その圧排により 胃と大腸は収縮
- ・ 膿瘍内腔が消化管内腔と類似：連続性を追うことが困難
- ・ 膿瘍発生ของガスと穿孔のガスが入り乱れることになる



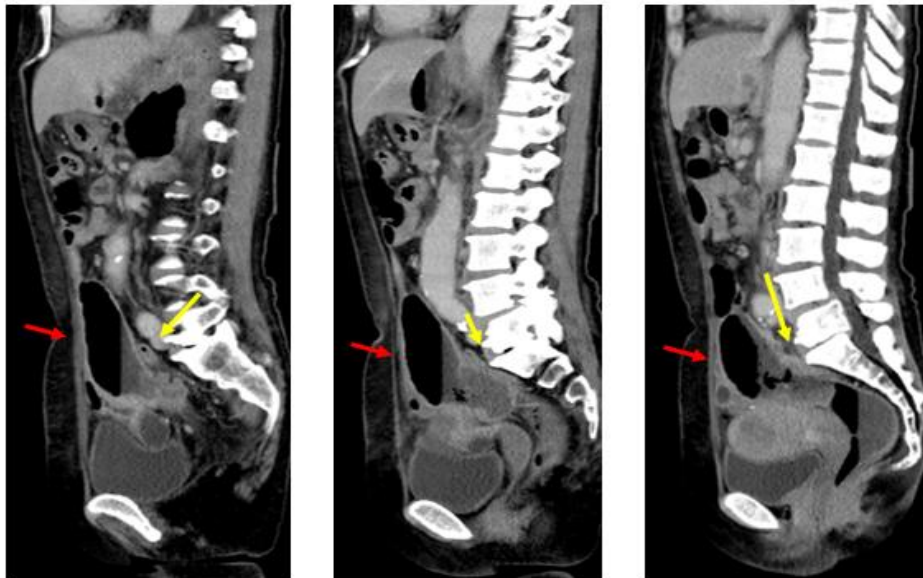
直腸から膿瘍への瘻孔部が描出。

## 2月24日 造影CT

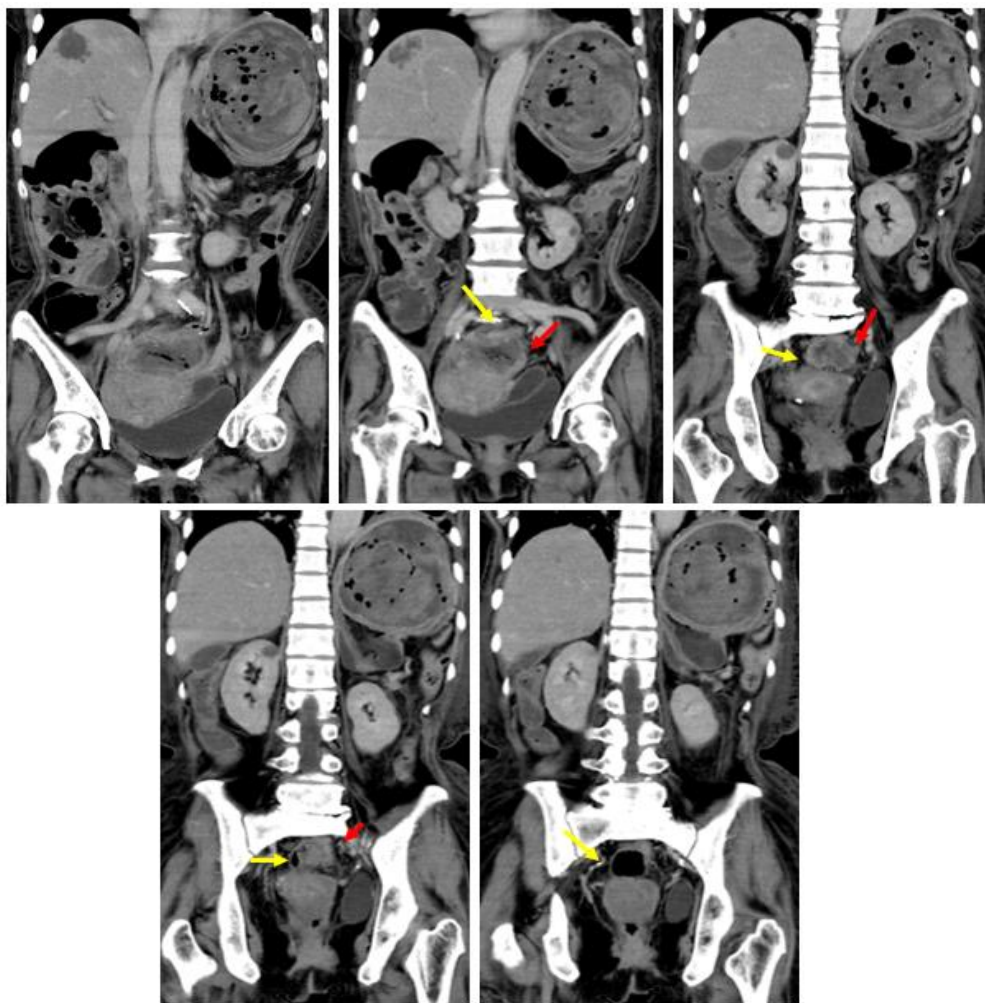
- ・ 造影検査で消化管壁の造影効果
- ・ 造影されない膿瘍との鑑別が可能



造影CT 赤矢印は膿瘍、黄色矢印は圧排された直腸



赤矢印は膿瘍、黄色矢印は圧排された直腸



黄色矢印は圧排されたS状結腸と直腸、赤矢印は膿瘍

# 下部消化管穿孔

- S状結腸憩室穿孔 S状結腸破裂(便秘症)  
Case 142 Case 233 Case288 Case 317
- 虫垂炎穿孔 Case 318 Case 357
- 腸管気腫症の穿孔 Case 108
- 本例では直腸がんの穿孔  
— 周囲正常織がなかったため、腹痛、発熱の症状に乏しかった可能性